

## 2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：セキュリティ・ネットワーク科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
33	Webプログラミング	2	60	4	必修	実習	無
34	CCNA II	2	30	2	必修	実習	無
35	CCNA III	2	30	2	必修	講義	無
36	CCNA IV	2	30	2	必修	実習	無
37	CCNA V	2	30	2	必修	講義	無
38	Linux I	2	60	4	必修	実習	有
39	Linux II	2	60	4	必修	実習	有
40	LPIC/LinuC対策 I	2	30	2	必修	講義	有
41	Windowsサーバ構築	2	60	4	必修	実習	有
42	セキュリティ III	2	60	4	必修	実習	無
43	セキュリティ解析	2	30	2	必修	実習	無
44	ログ解析	2	30	2	必修	実習	無
45	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
46	データベース演習(SQL II)	2	30	2	必修	実習	有
47	基本情報科目A対策 II	2	30	2	必修	講義	有
48	基本情報科目B対策 II	2	30	2	必修	講義	無
49	基礎英語 I	2	30	2	必修	講義	有
50	基礎英語 II	2	30	2	必修	講義	有
51	一般常識 I	2	30	2	必修	講義	無
52	一般常識 II	2	30	2	必修	講義	無
53	プレゼンテーション	2	30	2	必修	実習	有
54	就職対策 I	2	30	2	必修	講義	有
55	就職対策 II	2	30	2	必修	講義	無
56	就職対策 III	2	30	2	選択	講義	無
57	ビジネス検定対策	2	30	2	必修	講義	有
58	ビジネスマナー II	2	30	2	必修	講義	有
59	ビジネス数学	2	30	2	必修	講義	無
60	情報関連法規 II	2	30	2	必修	講義	有
61	体育実習 II	2	30	2	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	Webプログラミング		砂賀 勝己	無	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
CGIとDBを用いたウェブサイトの構築手法について学習する																					
<b>【講義概要】</b>																					
言語としてphp、DBサーバとしてMySQLを使う。演習をメインとして理解力を深める																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	php概要、phpの基本文法・他言語との違い(変数、制御文など)、CGIとは																				
2	postによるデータの取得とページの生成、文字列を扱う関数																				
3	ファイル、ラジオボタン(Form要素)																				
4	連想配列、foreach、die、チェックボックス(Form)																				
5	正規表現－概要、記述法、関連関数－、配列操作1－追加/削除のメソッドなど－																				
6	配列操作2－ソート、コピー、ファイルへのデータの追加、正規表現応用																				
7	総合演習1																				
8	関数(ユーザ定義)、日付関数																				
9	ヒアドキュメント、table関係の要素、phpによる作表																				
10	cookie操作																				
11	phpとMySQLの連携1－MySQL概要、接続/アクセスのための基本メソッド－																				
12	セッション管理、phpとMySQLの連携2－各種SQL文1－																				
13	phpとMySQLの連携3－各種SQL文2－、include																				
14	クラスの利用、getメソッド																				
15	総合演習3																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他( )</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
-																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	CCNA II		平塚 悠生	無	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける																					
<b>【講義概要】</b>																					
OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	OSI参照モデルL1について																				
2	仮想端末接続																				
3	ルータ起動の流れ																				
4	IFのL1およびL2の状態について																				
5	スタティックルートの復習と応用																				
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）																				
7	中間試験																				
8	ダイナミックルートとスタティックルートの比較																				
9	ルーティングプロトコルの基本的なしくみ																				
10	フローティングスタティックルート、VLSMについて																				
11	RIPの概要																				
12	RIPの設定演習																				
13	ワイルドカードマスクについて																				
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える																					
<b>【教員紹介】</b>																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	CCNAⅢ		平塚 悠生	無	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける																					
<b>【講義概要】</b>																					
OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	OSI参照モデルL1について																				
2	仮想端末接続																				
3	ルータ起動の流れ																				
4	IFのL1およびL2の状態について																				
5	スタティックルートの復習と応用																				
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）																				
7	中間試験																				
8	ダイナミックルートとスタティックルートの比較																				
9	ルーティングプロトコルの基本的なしくみ																				
10	フローティングスタティックルート、VLSMについて																				
11	RIPの概要																				
12	RIPの設定演習																				
13	ワイルドカードマスクについて																				
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える																					
<b>【教員紹介】</b>																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	CCNAIV		平塚 悠生	無	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける																					
<b>【講義概要】</b>																					
ルータの各種機能と設定方法を取り扱う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	OSPFの設定																				
2	OSPFの概要①																				
3	OSPFの概要②																				
4	OSPFの応用設定、フローティングスタティックルート																				
5	経路集約																				
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）																				
7	中間試験																				
8	ACL概要①																				
9	ACLの設定																				
10	NAT概要																				
11	NATの設定																				
12	可変長サブネットマスクについて																				
13	アドレスの計算演習																				
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える																					
<b>【教員紹介】</b>																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	CCNAV		平塚 悠生	無	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける																					
<b>【講義概要】</b>																					
ルータの各種機能と設定方法を取り扱う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	OSPFの設定																				
2	OSPFの概要①																				
3	OSPFの概要②																				
4	OSPFの応用設定、フローティングスタティックルート																				
5	経路集約																				
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）																				
7	中間試験																				
8	ACL概要①																				
9	ACLの設定																				
10	NAT概要																				
11	NATの設定																				
12	可変長サブネットマスクについて																				
13	アドレスの計算演習																				
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える																					
<b>【教員紹介】</b>																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Linux I		坂巻 吉則	有	4単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
Linuxを利用したサーバー構築に必要な知識および操作技術を、仮想化環境を利用した実機演習を通して習得することを目標とする。							
<b>【講義概要】</b>							
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linuxの環境構成、Linuxの特徴						
2	ファイル操作の基礎						
3	ファイル操作の基礎						
4	テキスト処理						
5	ユーザーとグループの管理、所有者管理とアクセス権の設定						
6	パッケージ管理、システムアーキテクチャー						
7	中間課題						
8	デバイスとファイルシステム						
9	シェルの機能とシェルスクリプト						
10	ネットワーク管理						
11	システム管理						
12	セキュリティ						
13	最終課題						
14	総合演習1						
15	総合演習2						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	40%		40%	20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。 現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。 大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
Linuxベーシック（オリジナルテキスト）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	LinuxII		坂巻 真美	有	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバー構築技術の習得、およびサーバー構築時におけるセキュリティ知識を習得することを目標とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linux環境の構築																				
2	システム管理の基礎																				
3	Webサーバーの構築																				
4	Webサーバーの構築																				
5	LAMP環境の構築																				
6	SSHによる暗号化通信																				
7	サービス状況の把握とファイアウォール設定																				
8	DNSサーバーの構築																				
9	DNSサーバーの構築																				
10	メールサーバーの構築																				
11	メールサーバーの構築																				
12	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
13	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
14	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
15	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（出席点）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td>40%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計	割合	40%			20%	40%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計															
割合	40%			20%	40%	100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
・ IT企業にてモバイルアプリ開発に従事 ・ 法人および個人向けITスクールにて開発系の科目を12年間担当																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
LinuxServerセキュリティ（オリジナルテキスト）																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	LPIC/LinuC対策 I		鈴木 俊	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
Linux Essentials 取得に必要な知識を身につけることを目標とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Linux コマンドライン操作の基本を身につけていることを前提として、Linux Essentials 試験の問題対策を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxの進化と普及したオペレーティングシステム																				
2	主なオープンソースアプリケーション																				
3	ICTスキルとLinuxでの作業																				
4	コマンドラインを使ってヘルプを表示する																				
5	ファイルの作成、移動、および削除																				
6	ファイルからのデータの検索と抽出																				
7	ここまでの復習、中間試験対策																				
8	中間試験																				
9	コマンドをスクリプトにする																				
10	データの格納先																				
11	ネットワーク上のコンピュータ																				
12	セキュリティの基本とユーザー種別																				
13	ファイルのパーミッションと所有権を管理する																				
14	ここまでの復習、期末試験対策																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験</th> <th>小テスト</th> <th>レポート 自習課題</th> <th>平常点</th> <th>その他 ( )</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点	その他 ( )	合計	割合	80%		20%			100%
評価項目	試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点	その他 ( )	合計															
割合	80%		20%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ (NW、サーバー) エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
教科書：JMAM Linux Essentials合格テキスト & 問題集																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Windowsサーバ構築		太田 和也	有	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
社会ではとても多くのWindowsマシンが使われており、それをセキュアな状態に保つ、管理を行うためのスキルはとても重要である。本講座ではそのための基礎知識となるWindowsクライアント/サーバのセキュリティ設定に関する手法を取得することを目的とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Windowサーバ/クライアント環境におけるセキュアなシステム構築の手法について学習する																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	仮想マシンについて、サーバの役割と構成																				
2	Windowsサーバのインストールと初期設定																				
3	ネットワークの設定 (NAT、ホストオンリー、ブリッジ)、DNS																				
4	Active Directoryの構築と設定、ユーザとグループとOU																				
5	ドメイン参加とローカルアカウント、ドメインアカウントの違い																				
6	グループポリシーの設定1																				
7	グループポリシーの設定2																				
8	ファイルサーバの設定1																				
9	ファイルサーバの設定2																				
10	ディスクの管理、バックアップ																				
11	セキュリティ周りの設定																				
12	サーバリプレイス (Active Directoryの移行)																				
13	実技試験																				
14	総合演習1																				
15	総合演習2																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ( )</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
授業中に配布するプリント																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	セキュリティⅢ		平塚 悠生	無	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
サイバーセキュリティ全体を理解し、セキュアな情報システムの構築に必要な知識や基礎力を身につける。																					
<b>【講義概要】</b>																					
CISPの基礎知識体系を基本とし、ビジネスとサイバーセキュリティの両立を前提とした講義を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	セキュリティの基本要素																				
2	識別、認証、認可、アカウントینگ																				
3	攻撃手法																				
4	ビジネスとセキュリティ																				
5	暗号化技術																				
6	鍵、署名、証明書																				
7	中間試験																				
8	リスク管理、アセスメント																				
9	フレームワーク、ガイドライン																				
10	クラウド																				
11	IoT、AI																				
12	脅威インテリジェンス																				
13	OSINT																				
14	デジタルフォレンジック																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
オリジナルテキスト																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	セキュリティ解析		平塚 悠生	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
簡単なCTF (Capture The Flag) 競技の問題が解けるレベルの基礎知識を身につけることを目的とする。なお、バイナリ解析ではx86_64環境をベースにして説明する。							
<b>【講義概要】</b>							
Linuxの基本操作を学びながら、各種ツールを用いて演習を実施する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linuxの基本操作①						
2	Linuxの基本操作②						
3	Linuxの基本操作③						
4	CTFとは、fileコマンド、stringsコマンド						
5	Forensics① バイナリ						
6	Forensics② zip、exif						
7	Crypto① base64、シーザー暗号						
8	Crypto② ハッシュ、RSA暗号						
9	Reversing① アセンブリ言語（代入、加算、減算、関数呼び出し）						
10	Reversing② アセンブリ言語（分岐）、バイトオーダ						
11	Reversing③ 逆アセンブルの実行、スタックとは						
12	Reversing④ gdbの使い方						
13	Pwn① パイプの使用、バッファオーバーフロー						
14	Pwn② 任意の関数の呼び出し						
15	Pwn③ フォーマット文字列攻撃						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	課題の提出状況で成績評価する 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること						
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	ログ解析		砂賀 勝己、他	無	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ログ収集分析ツールであるsplunkを使い、ログの解析手法について学習する。  
本講座は三井物産セキュアディレクション(株)(MBSD)との産学連携授業である。

## 【講義概要】

- ・ splunkの基本的な操作方法、用語などを学習する。また、これを用いたログ分析手法について学習する。
- ・ 最後にCTF形式になっているデータを解析して、その結果を発表、MBSD講師による好評が行われる。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	・ 環境構築(Linux版を使用)
8	・ ログとは
9	・ splunkとは 概要、操作方法、サーチ各種
10	・ BOT'S Ver1を使った解析と発表
11	・ MBSD様による特別講義 11/11(月)4,5限、12/2(月)4,5限、学期末
12	
13	
14	
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合				100%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

## 【教員紹介】

○砂賀 教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事  
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。

○MBSD講師 セキュリティ業務に携わるエンジニア

## 【教科書・参考文献】

MBSD作成資料を中心にプリント配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	データサイエンス	吉田 雅裕	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。

## 【講義概要】

ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	データサイエンスのプロセス
3	データ収集①（公開データ）
4	データ収集②（アンケート調査）
5	データクレンジング
6	データ集計
7	データ可視化
8	統計学基礎
9	統計的推定
10	統計的検定
11	連関分析
12	相関分析
13	データサイエンス演習①
14	データサイエンス演習②
15	データサイエンス演習③

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

## 【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

## 【教科書・参考文献】

参考文献：吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データベース演習(SQL II)	龔 恵美子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

SQL演習を通してデータの演算や変換を理解し、DMLを用いたより複雑なデータ操作を身につけることを目標とする。また、エンティティ・属性・多重度に対する理解を深め、ER図やテーブル設計仕様書が書けるようになる。

## 【講義概要】

教科書、プロジェクト、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。正規化したエンティティのサンプルを使用し、ExcelでER図やテーブル設計仕様書を記載する演習も行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	演習用データベース環境の構築
2	集合演算 (UNION、EXCEPT、INTERSECT)
3	CASE演算子 (単純CASE式)
4	CASE演算子 (検索CASE式)
5	文字列にまつわる関数 (LENGTH、TRIM、REPLACE、SUBSTRING、CONCAT)
6	数値と日付にまつわる関数 (ROUND、TRUNC、POWER、CURRENT_TIMESTAMP、CURRENT_DATE、CURRENT_TIME)
7	中間試験
8	変換にまつわる関数 (CAST、COALESCE)
9	行数を限定したデータ取得 (OFFSET-FETCH)
10	さまざまな結合 (3テーブル以上の結合、副問い合わせ結果との結合、同じテーブル同士の結合)
11	総まとめ、SQL強化演習
12	ER図の理解と製図演習
13	テーブル設計仕様書の記載演習
14	テーブル設計仕様書をもとにDB構築とDB利用
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

## 【教員紹介】

前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。

## 【教科書・参考文献】

スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	講義		基本情報科目A対策Ⅱ	太田 和也	有	2単位 30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。							
<b>【講義概要】</b>							
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。 基本情報技術者試験科目A免除又は基本情報技術者試験を合格した場合は、本授業は免除とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	過去問演習						
2	過去問演習						
3	過去問演習						
4	過去問演習						
5	過去問演習						
6	過去問演習						
7	中間試験						
8	過去問演習						
9	過去問演習						
10	過去問演習						
11	過去問演習						
12	過去問演習						
13	過去問演習						
14	過去問演習						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
<b>【教員紹介】</b>							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
IPAが公開している過去問題、サンプル問題							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策Ⅱ		安藤 真理	無	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。																					
<b>【講義概要】</b>																					
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 受験時の注意																				
2	ソート①																				
3	ソート②																				
4	文字列処理①																				
5	文字列処理②																				
6	中間試験対策																				
7	中間試験解説																				
8	過去問対策（アルゴリズム小問①）																				
9	過去問対策（アルゴリズム小問②）																				
10	過去問対策（アルゴリズム大問①）																				
11	過去問対策（アルゴリズム大問②）																				
12	過去問対策（セキュリティ①）																				
13	過去問対策（セキュリティ②）																				
14	期末試験対策																				
15	期末試験解説																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版) (大原出版)																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	基礎英語 I		Tope Salami	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。							
<b>【講義概要】</b>							
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で受領を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標						
2	Introducing Python						
3	Conversing with Python						
4	Writing a Program (Python Script)						
5	Writing a Program (Python Script) #2						
6	Review						
7	Mid term test						
8	Mid term review						
9	Create your first Program						
10	Create your first Program #2						
11	Comments and Errors #1						
12	Comments and Errors #2						
13	Variables						
14	Review						
15	Final test						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
	割合	100%					100%
	(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。						
<b>【教員紹介】</b>							
IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。”							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ		Tope Salami	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。							
<b>【講義概要】</b>							
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で受領を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標						
2	Introducing Python						
3	Conversing with Python						
4	Writing a Program (Python Script)						
5	Writing a Program (Python Script) #2						
6	Review						
7	Mid term test						
8	Mid term review						
9	Create your first Program						
10	Create your first Program #2						
11	Comments and Errors #1						
12	Comments and Errors #2						
13	Variables						
14	Review						
15	Final test						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	100%					100%
	(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。						
<b>【教員紹介】</b>							
IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。”							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	一般常識 I		唐戸 民雄	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。							
<b>【講義概要】</b>							
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPI などでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1			
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2			
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3			
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4			
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5			
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6			
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7			
8	中間試験						
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8			
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9			
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10			
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11			
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12			
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13			
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	10%		10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
<b>【教員紹介】</b>							
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
授業時にプリントを配付する。							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ		佐々木 一仁	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
①就職試験対策として必要な学力を身に付ける。				②就職試験の内容を理解し、就職活動に結び付ける。			
<b>【講義概要】</b>							
①一般常識      ②SPI      ③その他の検査 など							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Lesson12, Lesson13, Lesson41		小テスト Lesson1				
2	Lesson14, Lesson15, Lesson41		小テスト Lesson2				
3	Lesson16, Lesson17, Lesson42		小テスト Lesson3				
4	Lesson18, Lesson22, Lesson42		小テスト Lesson4, 5				
5	Lesson23, Lesson24, Lesson43		小テスト Lesson6				
6	Lesson25, Lesson26, Lesson43		小テスト Lesson7				
7	中間試験						
8	返却（解説） Lesson27, Lesson28		小テスト Lesson8				
9	Lesson29, Lesson30, Lesson44		小テスト Lesson9				
10	Lesson31, Lesson32, Lesson44		小テスト Lesson10				
11	Lesson33, Lesson34, Lesson45		小テスト Lesson11				
12	Lesson35, Lesson36, Lesson45		小テスト Lesson19				
13	Lesson37, Lesson38, Lesson46		小テスト Lesson20				
14	Lesson39, Lesson40, Lesson46		小テスト Lesson21				
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（                      ）	合計	
割合	80%	10%		10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
<b>【教員紹介】</b>							
中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
就職筆記試験対策問題集（ムゲンダイ出版）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	実習	プレゼンテーション		山際 能理子	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
目的：伝え方の技術を学び、社会人にむけての基礎力を養う 目標：効果的なプレゼンテーションスキルを習得し、今後の就職活動に活かす チーム作業を通して、協働する喜びを知る																					
<b>【講義概要】</b>																					
前半は、プレゼンテーションの基本理論を学びながら、説明や説得のテクニックを実習で体得します。 後半は、課題を組み立て発表し説明力の向上を図ります。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	【オリエンテーション】	説明力概論 説明と説得																			
2	【心理メカニズム】	相手（聞き手）の心理を理解する																			
3	【非言語①】	非言語の重要性を知る（視覚情報と聴覚情報）																			
4	【非言語②】	空間管理の活用 ツールの利用法																			
5	【説明力テクニック①】	インタビュー プランニング ネゴシエーション（パソコン持参）																			
6	【説得力テクニック②】	応酬話法 論理構築																			
7	【プレゼンテーション基礎】	全体構成 PREP法 課題作成																			
8	【プレゼンテーション基礎】	全体構成 SDS法 課題作成																			
9	【プレゼンテーション基礎】	スライドの作り方 レイアウト 文字の大きさ 配色																			
10	【プレゼンテーション準備】	チーム作業 全体構成案の提出																			
11	【プレゼンテーション準備】	チーム作業 進捗チェック																			
12	【プレゼンテーション実践】	チーム発表・評価																			
13	【プレゼンテーション実践】	チーム発表・評価																			
14	総合評価																				
15	まとめ																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> <td>50%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%			50%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%			50%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
専門学校や大学では、ビジネスマナー、社会人基礎力、就職対策、キャリアデザイン、プレゼンテーションを担当。 企業や官庁において、新入社員から管理職までの研修を担当。著書にサービス接遇や説明力がある。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
説明力強化																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象													
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期													
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数													
一般教育 必修	講義	就職対策 I		鈴木 俊	有	2単位 30時間													
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																			
<p>自分にあった職に就くために行うとよい「自己分析」と「自己PR文の作成」の基本的な方法を習得することを目標とする。また、就職活動の方法を知ること、必要となる準備を行うことを目標とする。</p>																			
<b>【講義概要】</b>																			
<p>各回、テーマに沿ったグループワーク、グループディスカッションを実施する。各回のワークに参加することを課題として、ワークを通じて記入したシートを提出する。また、レポート課題を提出とする。</p>																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	自分の「モノの見方」を考える																		
2	より良い就職とは何かを考える。職業選択理論																		
3	自分が就職に求めるもの考える																		
4	トレードオフを考える																		
5	人口減少・少子高齢化																		
6	中間試験																		
7	ES（エントリーシート）何をどう書く																		
8	ES（エントリーシート）の改善例																		
9	自己PR文章作成ワーク																		
10	自己PRポイントネタの注意点																		
11	履歴書作成ワーク																		
12	ビジネスメールの書き方																		
13	伝わりやすい文章の構成を考える①（論理の構成）																		
14	伝わりやすい文章の構成を考える②（グルーピング）																		
15	期末試験																		
<b>【成績評価方法】</b>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点（講義内ワークでの課題提出）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>40%</td> <td></td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。</p>								評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点（講義内ワークでの課題提出）	合計	割合	40%		20%	40%	100%
評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点（講義内ワークでの課題提出）	合計														
割合	40%		20%	40%	100%														
<b>【教員紹介】</b>																			
<p>インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事</p>																			
<b>【教科書・参考文献】</b>																			
-																			

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについて理解し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
<b>【講義概要】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークを通して自己理解を深め他者とのコミュニケーションを学ぶ。</li> <li>面説練習、様々なロールプレイングによって、会社訪問時などのビジネスマナーを体験しスムーズに活動するための基礎力を養う。</li> <li>企業と連携し、セミナー等を適宜実施する。</li> </ul>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習						
2	履歴書、自己PR、学生時代に頑張ったこと、志望動機の重要性の理解						
3	自己PRを記述し、自己PRを深める。「PREP法」を理解する						
4	キャリアコンサルタントによる特別授業(11/5(火)2限：スーツ着用)						
5	学生時代に頑張ったこと、自己PRの理解を深める						
6	採用試験(筆記/グループディスカッション/面接など)の説明と理解						
7	中間試験						
8	志望動機を記述し、理解を深める						
9	IT業界とは						
10	企業求人理解-その1 企業の求人票を確認する						
11	企業求人理解-その2 キーワード						
12	企業求人理解-その3 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
13	就職セミナー、会社訪問時の流れ、注意点について理解する						
14	まとめ						
15	期末試験						
適宜業界セミナーなどを開催							
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計	
割合	60%		20%	20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
<b>【教員紹介】</b>							
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	講義	就職対策Ⅲ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについて理解し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
<b>【講義概要】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークを通して自己理解を深め他者とのコミュニケーションを学ぶ。</li> <li>面説練習、様々なロールプレイングによって、会社訪問時などのビジネスマナーを体験しスムーズに活動するための基礎力を養う。</li> <li>企業と連携し、セミナー等を適宜実施する。</li> </ul>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習						
2	履歴書、自己PR、学生時代に頑張ったこと、志望動機の重要性の理解						
3	自己PRを記述し、自己PRを深める。「PREP法」を理解する						
4	キャリアコンサルタントによる特別授業(11/5(火)2限：スーツ着用)						
5	学生時代に頑張ったこと、自己PRの理解を深める						
6	採用試験(筆記/グループディスカッション/面接など)の説明と理解						
7	中間試験						
8	志望動機を記述し、理解を深める						
9	IT業界とは						
10	企業求人理解-その1 企業の求人票を確認する						
11	企業求人理解-その2 キーワード						
12	企業求人理解-その3 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
13	就職セミナー、会社訪問時の流れ、注意点について理解する						
14	まとめ						
15	期末試験						
適宜業界セミナーなどを開催							
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計	
割合	60%		20%	20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
<b>【教員紹介】</b>							
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	ビジネス検定対策		今村 朋子	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
ビジネス能力検定3級合格を目指す。 ビジネスの基本的な在り方を学び、実務力とコミュニケーション力をつける。																					
<b>【講義概要】</b>																					
ビジネスの基礎知識を学び、検定日までは毎回演習問題を実施し理解を深めます。 ビジネス能力検定終了後は、さらなる自己啓発に取り組み、就職活動の準備へ繋げて行きます。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	キャリアと仕事へのアプローチ 働く意識 演習問題																				
2	仕事の基本となる8つの意識 演習問題																				
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本 演習問題																				
4	指示の受け方と報告・連絡・相談 演習問題																				
5	話し方と聞き方のポイント 敬語の種類と必要性 演習問題																				
6	来客対応と訪問の基本マナー 面談と名刺交換 演習問題																				
7	中間試験																				
8	会社関係でのつき合い 冠婚葬祭の基本 演習問題																				
9	仕事への取り組み方 定型業務と否定形業務 演習問題																				
10	ビジネス文書の基本 社内文書・社外文書・社交文書 演習問題																				
11	電話対応 電話の受け方・かけ方 取りつぎの仕方 演習問題																				
12	統計・データの読み方・まとめ方 表とグラフ 演習問題																				
13	情報収集とメディアの活用 インターネット・新聞 演習問題																				
14	会社を取り巻く環境と経済の基本 求められる人材とは 演習問題																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ( )</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。 著作：「うかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
各クラス共通 「ビジネス能力検定3級」テキスト及び問題集																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ		今村 朋子	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。																					
<b>【講義概要】</b>																					
授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス																				
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点																				
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法																				
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本																				
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T、P、Oに合わせた言葉遣い																				
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」																				
7	中間試験																				
8	電話の対応① 電話対応の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応																				
9	電話の対応② 電話対応の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成																				
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方																				
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次																				
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー																				
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール																				
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。 著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
知っておきたいビジネスマナー																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	ビジネス数学		唐戸 民雄	無	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
ビジネス数学3級の合格を目指す。願わくば2級に合格したい。																					
<b>【講義概要】</b>																					
ビジネス数学とあるが、決して複雑な計算を要するわけではない。基本的な四則演算と初歩的な分数の知識の確認をしつつ、演習を行う。また、初歩的なビジネス用語にも触れる。社会のしくみ、動向を示す数字のごく初歩的なものを確認していきたい。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ビジネス数学について 演習I 割合 百分率・歩合																				
2	演習2 割合の利用 売買																				
3	演習3 損益費 分割払い																				
4	演習4 把握力1 業界シェアの動向は？売上状況は？どれだけ売れ筋に頼っているか？契約数は？																				
5	演習5 分析力1 小売店Aの利益は？Nさんの年収は？完全失業率は？5年後の受取利息は？																				
6	演習6 分析力2 定期預金の満期いくらになる？為替差益(差損)はどれくらい？平均賃金はいくら？ 他																				
7	総合演習1 把握力・分析力																				
8	中間試験																				
9	演習7 選択力 最適な通勤ルートは？どの部署に配属させればよい？売り上げを最大にする価格は？																				
10	演習8 把握力2 どのITベンダーに委託する？模範店舗はどの店舗？利益を最大にする戦略は？ 他																				
11	演習9 予測力1 来月の売上高は？R社に何時に到着する？8月の入場者数は？製品を作るのに何時間かかる？																				
12	演習10 予測力2 集計作業が終わるのはいつ？製品Zの納期はいつ？B店がA店を追い抜くのはいつ？ 他																				
13	演習11 表現力1 受験者数を棒グラフで示そう 売上構成を円グラフで示そう データ分析のヒストグラムは？ 他																				
14	演習12 表現力2 販売数量と気温の関係をみえる化 株価の動向をローソク足で表すと？ 他																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ( )</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
授業時にプリントを配付する。																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	情報関連法規Ⅱ		佐久間 悠太	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
2																					
<b>【講義概要】</b>																					
本講義では、身近な法律問題を取り上げて、法律学の基本的な知識を修得します。また、情報処理技術者として必要な法的知識を修得します。単なる知識として理解するだけでなく、具体的な事例をもとに、法的思考を養うことを目標とします。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	イントロダクション（知的財産権のあらまし）																				
2	商標法																				
3	不正競争防止法																				
4	特許権、実用新案権、意匠権																				
5	著作権①																				
6	著作権②																				
7	中間試験																				
8	電子商取引																				
9	個人情報保護法																				
10	情報公開法																				
11	情報処理技術者として必要な法律について理解する①																				
12	情報処理技術者として必要な法律について理解する②																				
13	情報処理技術者として必要な法律について理解する③																				
14	情報処理技術者として必要な法律について理解する④																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td>15%</td><td>15%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%		15%	15%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%		15%	15%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
名古屋市立大学大学院修士課程修了。専攻は憲法学。大学院修了後、中日本高速道路株式会社に8年間勤務し、法務業務（契約書審査や訴訟対応等）や情報システム業務を主に担当。2021年に同社を退職し、現在は行政書士佐久間事務所の代表として、企業の法務業務をサポートしている。東北大学大学院博士課程に在籍中。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
米丸恒治編『18歳からはじめる情報法〔第2版〕』（法律文化社、2022年）																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2026		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ		セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<p>運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。                      ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。                      学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。                      心身の健全な育成を目指しています。</p>							
<b>【講義概要】</b>							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4	学園祭準備（1日目、2日目）						
5							
6							
7	学園祭（1日目）						
8							
9							
10	学園祭（2日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング						
14							
15							
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
<b>【教員紹介】</b>							
-							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							